



# オホーツク地域公共交通利便増進実施計画（概要）

- 北海道オホーツク地域（紋別・湧別・遠軽）では、広域交通においてバス事業者間の競合がみられる。これらについて、競合を解消するとともに運行頻度の見直しを行い、運転手不足等による運行継続が難しい経営状況の改善に資する運行の効率化を図る。
- 湧別町を新たな交通結節点を位置づけ、停留所の待合環境の向上、バスロケーションシステムの導入による乗り継ぎ環境の向上を目指す。
- 上記に加え、最新の電子決済システムを導入しシームレスな利用環境の構築とサービス向上を図る。

## 事業の内容

### 事業 I 広域交通の最適化

- 広域幹線間の競合解消と運行頻度の適正化（イ）
  - ・紋別湧別間の重複していた2系統を1系統に再編
  - ・湧別遠軽間の重複していた3系統を1系統に再編
  - ・効率化により、区間で見ると便数は増加
  - ・二重にリソースを割いていた、車両や人材、管理費用の削減

### 事業 II 公共交通のサービス向上

- ・通学便の一部について紋別高校や遠軽高校への経由化
- ・バスロケーションシステムを結節点となる湧別ターミナルに導入（ハ）
- ・バス停見直しによる速達性向上

#### 作成自治体

北海道

#### 事業実施区域

遠軽町・湧別町・紋別市

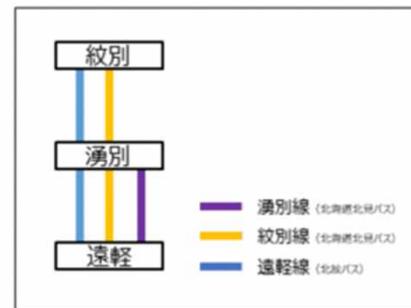
#### 事業実施予定期間

令和7年10月～令和10年9月

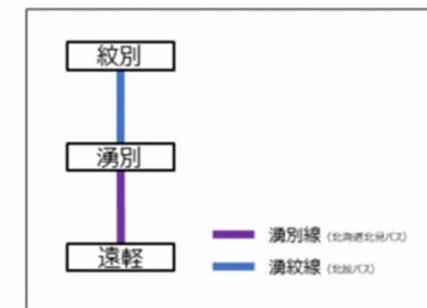
#### 実施事業者

北海道北見バス(株)・北紋バス(株)

#### ◆ 最適化前の運行路線（令和7年9月時点）



#### ◆ 最適化後の運行路線（令和7年10月以降）



#### ◆ 最適化による運行頻度の変化

| 最適化前 |    | 最適化後 |    | 増減  | 最適化の内容     |
|------|----|------|----|-----|------------|
| 対象系統 | 便数 | 対象系統 | 便数 |     |            |
| 湧別線  | 23 | 湧別線  | 34 | +11 | 競合ダイヤを見直し  |
| 紋別線  | 8  | -    | 0  | -8  | 湧別線と漢紋線に再編 |
| 遠軽線  | 8  | 湧紋線  | 16 | +8  |            |

## 事業の効果

### 事業 I 広域交通の最適化

- ・運転手実労働：▲9.9時間/平日
- ・平均乗車密度の維持
- ・路線短縮による費用カットにより収支率向上（34.5%→39.6%）

### 事業 II 公共交通のサービス向上

- ・アクセス性向上
- ・バスロケーションシステムによる待ち時間の負担感軽減
- ・ICカードの導入による乗車、乗り継ぎサービスの利便性向上